

〈家庭科〉 6年

現在の分析

〈家庭生活の関心・意欲・態度〉

- ・生活時間を有効に使って、家族に協力し家族との触れ合いをもつことに関心を示す児童が多い。しかし、学校でも家庭でも児童の生活が忙しく、家族とゆっくり話す余裕もない児童が大半である。その中で、学習したことを生かし、家族のために、何か作ったという児童も多くいる。
- ・フライパンを使った炒める調理、ソーイングでは、安全に留意し、協力しながら集中して取り組む児童が多く見られた。

〈生活を創意工夫する能力〉

- ・朝食作りでの計画では、栄養のバランス・手早く作ること・後片付けが楽であること等の条件を踏まえた献立について自分なりに工夫して考えられた児童が多く見られた。

〈生活の技能〉

- ・安全に関しての基本的なこと（調理用具・裁縫用具など）に留意して、活動できている。
- ・調理用具の扱いや後片付けにも慣れてうまくなってきている。

〈家庭生活についての知識・理解〉

- ・生活時間の有効な使い方、家族との触れ合いの大切さは理解している。食品にあった洗い方・切り方・調理の仕方・後かたづけの仕方やミシンの基本的な操作など、だいたい理解できている。

重点課題

〈家庭生活の関心・意欲・態度〉

- ・生活時間の有効な使い方、家族との触れ合いを楽しくする方法などの学習では、理解していてもなかなか実践に結びつきにくい。しかし、調理の関心は高く、調理実習後に家庭で実践する児童は少なくない。調理や裁縫以外でも、より関心をもってもらうこと。

〈生活を創意工夫する能力〉

- ・学習したことを理解はしているが、自分の生活に生かすことが難しい児童がいるため、自分の場合に当てはめて考えさせること。

〈生活の技能〉

- ・調理実習の時、後かたづけに時間がかかりすぎるグループもいる。
- ・環境にも配慮して、調理させること。

〈家庭生活についての知識・理解〉

- ・一人ずつ理解の仕方が様々である。家庭生活についての基礎的な知識の理解を図る。

授業改善策

〈家庭生活の関心・意欲・態度〉

- ・休日を利用して、家庭での実習計画を立て、実践させる手立てをもつ。
- ・カードなどに記入させ、発表する場を設定し、より家庭実践への意欲につなげていく。
- ・学校での学習が、家庭生活の中で活かせるようにするために、「家庭科だより」を通して保護者との連携をはかる。

〈生活を創意工夫する能力〉

- ・最上級生として、生活を楽しくする物の製作では、独自のアイデアを生かし、縫い方も工夫してつくらせる。作品見本や資料をみたり、友達からアドバイスをもらったりして考えさせる。

〈生活の技能〉

- ・調理実習では、使い終わった物からどんどん片づけていくなど班で協力をして効率よくできるように声をかける。用具の使い方など繰り返し実習して、技能の定着をはかっていく。実習中は、水の量・洗剤の量・材料を無駄なく使う・生ゴミの始末など、環境に配慮させながら指導する。

〈家庭生活についての知識・理解〉

- ・大きな題材ごとにまとめのテストを実施して、児童の学習でのつまづきを把握。指導に生かす。
- ・自分の言葉で説明できるように、発表の機会をふやす。